ORA-00600 の不整合データ発生に対する対処

ORA-07445 のメモリ空間参照ポインタに対する対処

ORA-00600 と ORA-07445 のエラーについて

この２つのエラーは、Oracle の致命的なエラーとして発生しています　大まかな原因については、下記に記述します

対処については、Oracle カスタマー・サポート・センターに状況を報告して、対応の指示を受けるのが一般的です

なお、問題発生した部分が、メモリだけで損傷が起こっているのか、ディスク・データまで影響しているのかによって今後の進め方が異なってきます

ディスク部分の検査については、ユーティリティが準備されているので、エラー検査を行うことができます

ORA-00600 不整合データ発生について

発生原因

・ディスクからバッファに読込まれたブロックが、損傷している
・ブロック内の空き領域が、正しく管理されていない
・ブロック内の行ロックの情報が、正しく反映されていない

詳細エラーの情報

ORA-600 ［4519］の表示のように［］内の値が、エラーの内容を表す識別子になっている

例）4519 は、通常のデータを格納するデータ・ブロックに、それ以外の用途に使われているタイプのデータであった
（データ・ブロックが、通常のデータ形式では無かった）

対処方法

このエラーに対しては、Oracle カスタマー・サポート・センターに連絡をして指示を仰ぐことになります

ただし、バックグラウンド・プロセスで発生した場合には、処理の再実行。サーバー・プロセスで発生した場合には、インスタンスの再起動で、エラーを回避できるケースもあります

ORA-07445 メモリ空間参照ポインタ異常について

発生原因

・Oracle のプロセスが、OS が管理しているユーザー・プロセスのメモリ空間範囲を超え、他のプロセスのアドレスにアクセスしようとした
このため、OS から異常検知シグナルを受取り、プロセスが OS により強制終了させられた

対処方法

このエラーに対しては、Oracle カスタマー・サポート・センターに連絡をして指示を仰ぐことになります

ただし、バックグラウンド・プロセスで発生した場合には、処理の再実行。サーバー・プロセスで発生した場合には、インスタンスの再起動で、エラーを回避できるケースもあります

【注意事項】

処理の再実行、インスタンスの再起動で上手く処理できた場合でも、念のためにデータファイルやオブジェクトのブロック検査チェックを行っておくこと